

町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会  
〒194-8520 東京都  
町田市森野 2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

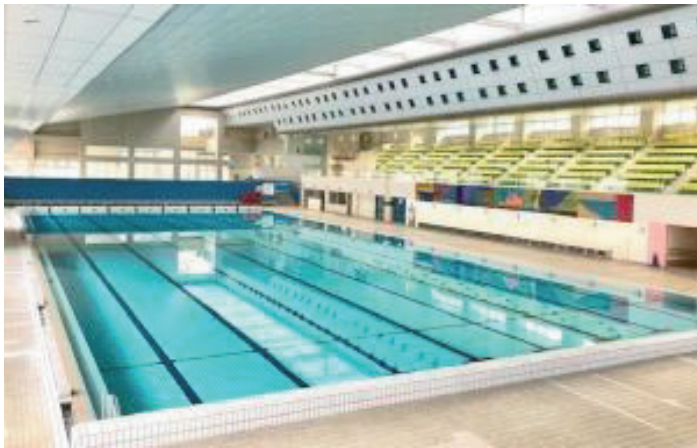
## プール使用料を公平にと言うが

65歳になると、大人の3分の1の料金

町田市民プールの料金を改定(値上げ)する内容の体育施設の条例を変更する提案がされました。受益者負担の適正化の基本方針からと言うものでしたが、他の議員は料金引き上げ自体に批判的な見地、あるいはこの引き上げが利用者減につながらないかと言う点からの問いかけでした。

私は、他の議員と根本的に視点が異なり、行政は受益者負担の適正化にもとづく料金改定と言うが、

大人 310円→460円、子ども 100円→150円  
65歳以上の高齢者 100円→150円と言う料金体系は矛盾していると述べました。高齢者を子ども扱いとする点、一般の大人の3分の1と言う金額の差は、他の料金割引にはないことであり、民間の施設ではとりわけ区別がなく、自分が会員となっているスポーツクラブ(スイミング)では、高齢者割引など一切ないとも説明しました。もし、高齢者の健康対策を考えるなら、福祉的な施策や、健康維持プログラムが提供されるべきでしょう。表決時の討論要旨は改めて掲載したいと思います。\*町田市のHP写真



## まちだパパママ給食クロストークに参加

「まちだパパママ給食クロストーク!!」と言うものに参加しました。町田市の《町田市民協働フェスティバル「まちカフェ!」10DAYS内イベント》の一環で実施されたもので、担当の市職員の方も参加されていました。実施方法は、今風にzoomを使用したもので、オンラインによる開催です。町田市の中学校給食の改善を求める団体が主催したもので、直近で、町田市長が旧来の方法を見直し、新たな方式の検討を町田学校給食問題協議会に諮問して、令和3年1月にその答申を受けるタイミングでの、開催は意義あるものでしょう。この団体は、個人の皆さんが連携して、町田市の中学校給食の改善を求めて運動してきたものですが、一般の運動が市政の転換につながる確かな例と思っています。



記事のため  
自分が撮影した写真を掲載

青森県八戸市の学校給食を現地で体験試食。この日はパン食。温か汁物もつく。センター方式で作り、保温食缶で配送。

この日は、主催者が全体の説明と進行を務め、一般参加申し込みの人が、現行の選択式デリバリー弁当給食(喫食率10%程度)を転換して、町田市がどのような給食をやれば生徒から好まれるか、その移行費用経費なども含めて意見と感想を述べていました。参加した市議会議員は様子を見つめる役目で、チャットで若干の説明と感想を入れるスタイルでした。

次回予告記事=35 人学級導入\*国方針と町田市

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ

HP



メールは  
左記を送込  
して送信



インターン生募集中

## キャッシュレス決済が paypay になった意味

町田市は昨年12月から、今年1月いっぱいまで、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業（以下、pp事業と表記）を実施しています。使用者には最大20%のそのプレミアムポイントが付与されるものです。ただし、使用できるものはpaypayに限られます。なぜか、他のキャッシュレス決済手段は使えません。

まずこのpp事業予算の歳入が、全額国費（約12億円）で賄われ、町田市は1円も使わずに実質11億5千万円を消費者に還元する費用とする事業となっています。国がキャッシュレス決済を推進するために実施する事業としての位置づけです。町田市は入札で業者を募集し、一番有利な条件を提示したpaypayを採用したわけです。聞くところによると、全国の自治体で80%ほどがpaypayを採用しているようです。また、この事業に参加した企業がpaypayに払う手数料は無料（キャンペーン分）であり、町田市内におけるキャッシュレス決済方法は、ますます、この、paypayに集中拡大するでしょう。



\*町田市発行のチラシ

計算上、町田市内店舗で消費流通する金額見込みは57億5千万円に上り、一見歓迎される施策ですが、キャッシュレス決済手段が、paypayに丸化していくことのデメリットは一切語られていません。企業に公正な競争を確保させることが、長期的には大事な政治の役割と考えています。

## インターン体験記⑪星野ひとみ

昭和女子大学キャンパス内にて「産業交流会」が行われました。産業交流会は、年に一度昭和女子大学がインターンシップ等でお世話になっている企業の方々をお招きし、学生と教職員の方々が一緒になって情報交換等を行うものです。

新型コロナ感染対策で、参加者の人数制限があり、インターン体験者の（代表）報告会場には入場せず、私は、各学部・学科ごとに開催された第二部の懇談会に参加し、ひさびさに吉田議員にお会いすることができました。学部・学科の教授には、今回のインターンシップで学んだ研修テーマごとに訪問先を変えた研修方法、参加者を少人数に限定したリアル体験で学んだことや、zoom会議を開いて、見つかった改善点に関して相互に検討したなどを説明できました。



昭和女子大学3年生 星野ひとみ(第46期生)

私はそのインターンシップでは、議長公邸で山東昭子参議院議長とインターン生2人のみで面談できたことなど、大変貴重な経験を多くさせていただきました。この経験を、今後の自分のキャリア形成に活用できるよう、努力してまいります。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。